

横穴群 城山

国史跡

その規模と密集度
全国屈指

National Historic Site
JOUYAMA-YOKOANAGUN



福岡県 田川郡
福智町

地域の歴史紐解く
貴重な出土と発見
国史跡城山横穴群



城山横穴群の時代

ふるさと福智の歴史をたどる

600 古墳時代 250 250 弥生時代 BC 300 BC 300 縄文時代 ◀◀◀



人見古墳群出土の獅噛環柄頭
(九州国立博物館所蔵)

▼伊方古墳は福岡県内でも有数の規模を持つ巨石墳で、発掘調査では金銅装の馬具等が確認され、この地域一帯を治めた首長の古墳であると考えられています。
▼また、人見古墳群(神崎1号墳)からは獅噛環柄頭という優れた副葬品が出土し、全国的にも類例が少なく貴重な遺物として伝えられています。



墳丘の直径約32m、高さ約5m、前後2室からなる内部の横穴式石室が全長12mを誇る伊方古墳【県指定史跡】



▼古墳時代前期の古墳では迫古墳(弁城)が知られ、神崎遺跡では石棺墓が確認されています。
▼城山横穴群は古墳時代の後期に造られ、6世紀の終わりごろに伊方古墳が造られました。



▲三本松古墳群(弁城)と▲宝珠遺跡(弁城)から出土した青銅製の鏡で弥生時代後期の内行花文鏡【町指定文化財】



▲狩獵風景の線刻画が残っている弥生中期の甕片【町指定文化財】



長浦遺跡の縄文土器や金山遺跡の石斧と石鏃(福智町所蔵)

▼私たちの故郷、福智町には古くから人々が生活していた跡が残されています。金山遺跡(伊方)、長浦遺跡(伊方)では縄文時代の遺物や遺構が確認されています。



左上から時計回りに「耳環」「裝飾付器台」「鉄刀片」「はそう」「鉄鏃」。郷土の歴史を物語る貴重な資料が多数発掘されました。



横穴群の中でも最大規模の墳丘では円筒埴輪も出土。下のイメージイラストのように墳丘上部に配置されていたと考えられます。



横穴墓とは、斜面や崖などに穴を掘って造られたお墓のこと。「城山横穴群」では水平方向に3段から5段にわたる横穴222基が確認され、それに伴う12の墳丘があります。またハマグリが入ったままの坏(器)など、地域の特徴を示す貴重な出土品も発見されています。



▲「城山横穴群」で最大規模の墳丘のイメージイラスト

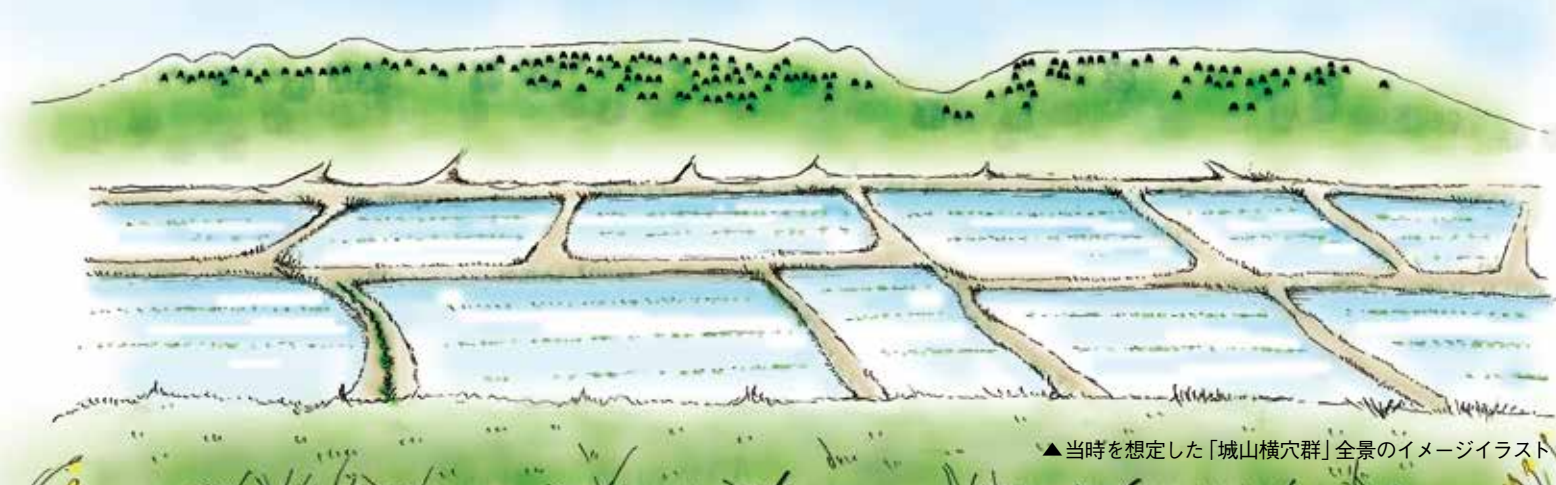
2014年10月6日、文部科学大臣が国史跡に指定。222もの横穴墓と貴重な出土品を確認

その規模と密集度、全国屈指

2021年完成 国史跡

城山横穴群

郷土の歴史をたどりながら
まちが誇る史跡をご紹介します



▲当時を想定した「城山横穴群」全景のイメージイラスト

▼「城山横穴群」は、近世から金田手永の大庄屋である六角家の敷地の一角として手付かずのまま残された貴重な遺跡。山頂一帯では「城山」の地名にも由来する中世の城郭跡が確認されています。



横穴墓入口の石組みや特徴的な群構造が確認され、貴重な副葬品も出土している「城山横穴群」は、遠賀川流域を代表する国内有数の横穴群として注目されています。

▼福岡県内でも横穴墓の集中地帯として知られる遠賀川流域。その中流域にある「城山横穴群」は6世紀前半から7世紀後半にわたって造られました。平成20年から福智町教育委員会が5年にわたって調査し、222の横穴墓と12の墳丘を確認。その分布範囲と密集度、貴重な出土品が高く評価され、平成26年10月の官報で、田川市郡では初、筑豊地域でも半世紀ぶりとなる文部科学大臣指定の「国史跡」となることが正式に発表されました。

222もの横穴墓と12の墳丘を確認

全国屈指の規模と密集度「城山横穴群の概要」



上の写真が現在の場所。今回整備されたのは一部で、赤枠内が史跡の範囲。



▼「城山横穴群」は一級河川「遠賀川」の支流「中元寺川」の右岸にあり、標高21m～39m、南北約2万㎡にわたる西金田の丘陵上に位置する横穴墓です。その存在は合併前の旧金田町史にも記載され、古くより地域史解明の糸口となる遺跡とされてきました。規模や内容の面で歴史的価値が非常に高いことから現状保存の方針で計画を策定し、約13年に及ぶ調査・整備を実施。令和3年4月、整備の完了に伴い、一般公開を開始しました。

西金田の城山に残る約2万㎡の横穴群

先人の営みを物語る遺跡「城山横穴群の位置」

10 城山横穴群の特徴

01

九州を代表する横穴群

九州内で最も高い横穴墓の分布密度



▼2万㎡の斜面に密集する横穴

九

州で200を超える横穴群はわずか4件。横穴墓222基、墳丘12基がある城山横穴群はその中で密集度が最も高く、九州横穴群の代表的存在です。

02

地域的特徴を示す史跡

横穴墓に伴う墳丘の地域特性を導ける



▼石や土を盛り作られた墳丘

従

来、筑前や豊前地域で横穴墓に伴う墳丘が数例知られていましたが、12もの墳丘がある城山横穴群はその地域特性を顕著に示す重要な史跡です。

06

円筒埴輪片が出土

他の墳丘との階層差を示す遺物



▼最大墳丘から出土した埴輪片

墳

丘に樹立されたと思われる円筒埴輪片が出土。これまで横穴墓の墳丘上での埴輪出土例は近隣でも少なく、地域的に見ても特色ある事例です。

07

遠賀川流域特有の石組

羨門部にも示される地域的特徴



▼石組みも地域の代表例

横

穴墓の入口である羨門部に架けられた石組の構造も遠賀川流域に見られる地域的特徴。ここでも城山横穴群は代表的な事例に挙げられます。

08

群の構成は数種類

水平方向に3〜5段にわたる重層的な構築も特徴



▼横穴をつなぎ共有された墓道

群

構造では入口平坦面を共有する墓群、大型横穴墓や墳丘でまとまりを持つ群、各自が墓道を共有する群など、いくつかの群構成が想定されます。

03

お供えのカタチを発掘

当時の食物供献儀礼を想定させる遺物が出土

墳

丘での祭祀行為をうかがわせる須恵器大甕や短頸壺などの遺物が城山横穴群から多く出土しました。なかでも坏の中に納められたままの状態出土したハマグリは、墳丘で食物をお供えした儀礼を物語る貴重な発見だといえます。



横穴墓からたくさん坏を発見！その後CTスキャンで中の存在を確認して土を取り除きました



ハマグリ発見！

09

2つの地域の特徴示す

遠賀川流域と周防灘沿岸の特徴をあわせ持つ

横

長の玄室が多い傾向が遠賀川流域と一致する一方で、ドーム形の天井傾向が周防灘沿岸地域と一致しており、両地域の接点に位置する地域性を表しています。



横穴墓模式図 正面



▲横長の玄室が特徴の城山横穴群



▲数多く見られたドーム形の天井

10

地域間交流の可能性も

飯塚市池田横穴墓群に似た出土品

出

土した金銅装馬具は、地域の権力者が埋葬されていたことをうかがわせる貴重な資料です。また、須恵器四耳短頸甕は、類似例が出土した飯塚市の池田横穴墓群とともに、地域間交流や地域的特性を予想させる重要な資料です。



▶須恵器四耳短頸甕

次世代に誇れる史跡に

地域の歴史をひもとく価値ある城山横穴群

国

史跡に指定された「城山横穴群」は、10の特徴のように、横穴墓が濃密に分布することで知られる遠賀川流域の中でも代表的な横穴群です。特に規模や密集度は全国屈指で、わが国を代表する横穴群としても重要な価値を示しています。整備にあたっては範囲と整備工事の工法などについて委員会が慎重に審議して決定し、その計画に基づいて整備を行いました。今後もさらに調査研究を進め、地域の歴史解明に努める一方、町にとって誇れる存在の史跡となるよう取り組んでまいります。



横穴墓の葬送儀礼のイメージ。残された史跡がこの地域で営まれた約1400年前の生活水準の高さを物語っています。

05

長年にわたる展開残す

北側から南側へと横穴墓を展開

6

世紀中頃まで北側の丘陵が主体の横穴群。やがて6世紀後半からその数が増えると、南側を含む丘陵全体へと展開しながら、7世紀初期まで造られ、7世紀後半以降の追葬も想定されます。このような変遷の過程を追うことができることは大変貴重です。

▼開始からの増築の過程が残っている横穴群



04

郷土史もぬりかえる発見

田川地域の横穴墓の築造時期を約半世紀早める

城

山横穴群の始まりは6世紀前半で、田川地域では最古。これまで6世紀中頃とされてきた田川地域の横穴墓の初現時期をさかのぼる結果をもたらしました。また築造のピークは遠賀川流域の他の事例と比較すると遅く、地域的動向とは異なる側面も示しています。

▼被葬者を安置する「玄室」の入口「羨門部」



平安時代から江戸時代

ふるさと福智の歴史をたどる

江戸時代

1603

安土桃山時代 1573

室町時代

1336

鎌倉

1185

平安時代



▲白糸の滝から上野焼を訪ねて一句「投入れて滝見顔なり折躰躑」

●上野焼開窯当初から稼働し41mに及ぶ連房式登り窯を誇った「釜ノ口窯」。その後上野焼は「血山本窯」へと拠点を移します。

●1605年（慶長10）当代随一の教養人で忠興の父・細川幽斉が興国寺に来訪し「墨染桜」を観賞

●1719年（享保4）小倉小笠原藩2代藩主小笠原忠雄が上野に来訪し「上野八景」を創作

●1719年（享保4）「興国寺仏殿」が造られる【県指定文化財】

●1728年（享保13）芭蕉十哲の俳人・志太野坡が上野を清遊



●足利尊氏直義からの寄進状を興国寺が受け、以降「興国寺文書」が綴られる【県指定文化財】

●1587年（天正15）香春岳城の戦いで小原信利が戦死

●1602年（慶長7）豊前小倉藩主・細川忠興が李朝陶工・尊楷を招いて福智山麓に「上野焼」を開窯【国指定伝統的工芸品】

●平安時代後期に「東光寺経筒」が埋納される【県指定文化財】

●1335年（建武2）「梵字曼荼羅」が刻まれる【県指定文化財】

●南北朝時代に「無隠元庵坐像」が彫られる【県指定文化財】



▲弁財天の城跡付近には、今も弁財天の祠がまつられています。

▼平清盛が子の重衡に命じて要害に築城させ、平家の守護神である弁財天がまつられたと伝えられる弁財天。このことが弁城の地名の由来にもなっています。

▶1601年（慶長6）、筑前に入国した黒田長政が六端城の一つに定めた鷹取城。その城主で「黒田節」のモデルの母里太兵衛は「富士山より福智山の方がすばらしい」と生涯譲らなかった逸話が残っています。



▼古くからこの地は豊前と筑前の境界で、勢力争いの場でした。1046年（永承元）、鷹取城が長谷川吉武によって鷹取山頂に築城され、豊前国の城としては500年以上の歴史を重ねました。



国史跡 城山横穴群MAP

施設は遺構展示のほか、史跡公園としても整備されています。貴重な遺構を後世に残すため、約2万㎡の敷地の中でも特に横穴墓の分布が多い西側の斜面の一部で横穴の位置を表現しました。また横穴整備としては初となる、土と再生繊維を混ぜて吹き付ける特殊な工法を用いて、遺構の展示と保護を両立させるための工夫がされています。

史跡 城山横穴群



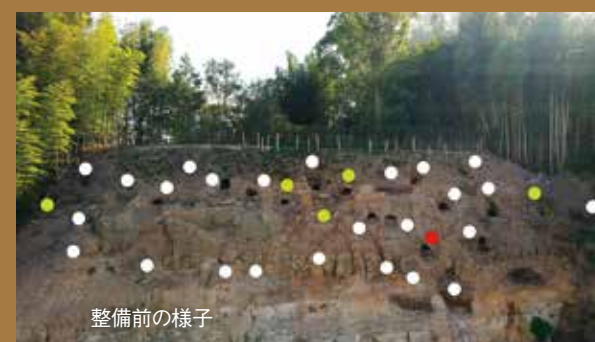
左上 / レプリカの元となった、南側丘陵にあるY133号墓（調査時）
右上 / 横穴墓としては例の少ない、赤色顔料が検出された羨門部
右下 / レプリカでは約7㎡の横穴内部も再現



▼レプリカ展示施設では、特に保存状態の良い横穴を原寸で再現しており、石室の内部構造も確認することができます。また羨門部には彩色が施された形跡があり、九州歴史資料館が分析した結果、首里城にも使用されたベンガラと呼ばれる赤色顔料である可能性が高まりました。このことから葬送の儀礼の際に古墳に魔除けの装飾を施し、埋葬者を弔っていたことも想定されます。



内部構造を精巧に表現【レプリカ展示施設】
彩色の痕跡残す
遺構を原寸で再現



● = 人骨が出土した横穴 ● = 羨門の石組が残る横穴

丸印の位置が整備された横穴で、31箇所を確認されています。●は人骨が出土した横穴、●は特に石組みの残りがよい横穴で、遺構展示でも一部が再現されています。



▲ 原形の残る人骨の出土は希少



▲ Y73号墓内部を3D画像で確認
提供：九州文化財計測支援集団

▼今回整備した範囲には、31基の横穴墓が確認されています。斜面上段は比較的に残りがよく、下段は崩落が進んでいます。遺構展示の黒い穴の部分が横穴墓の入り口、少し薄い色の部分が横穴墓へ行くための墓道を表現しています。また土砂でふさがり気密性が高かったことから、横穴墓の1基（Y73号墓）から保存状態の良い人骨3体も出土しています。

横穴分布の多い西側を整備【遺構展示】
姿を現した横穴群
希少な人骨も出土

ふるさと福智の歴史をたどる

昭和時代

1926

大正時代

明治時代

1868

江戸時代

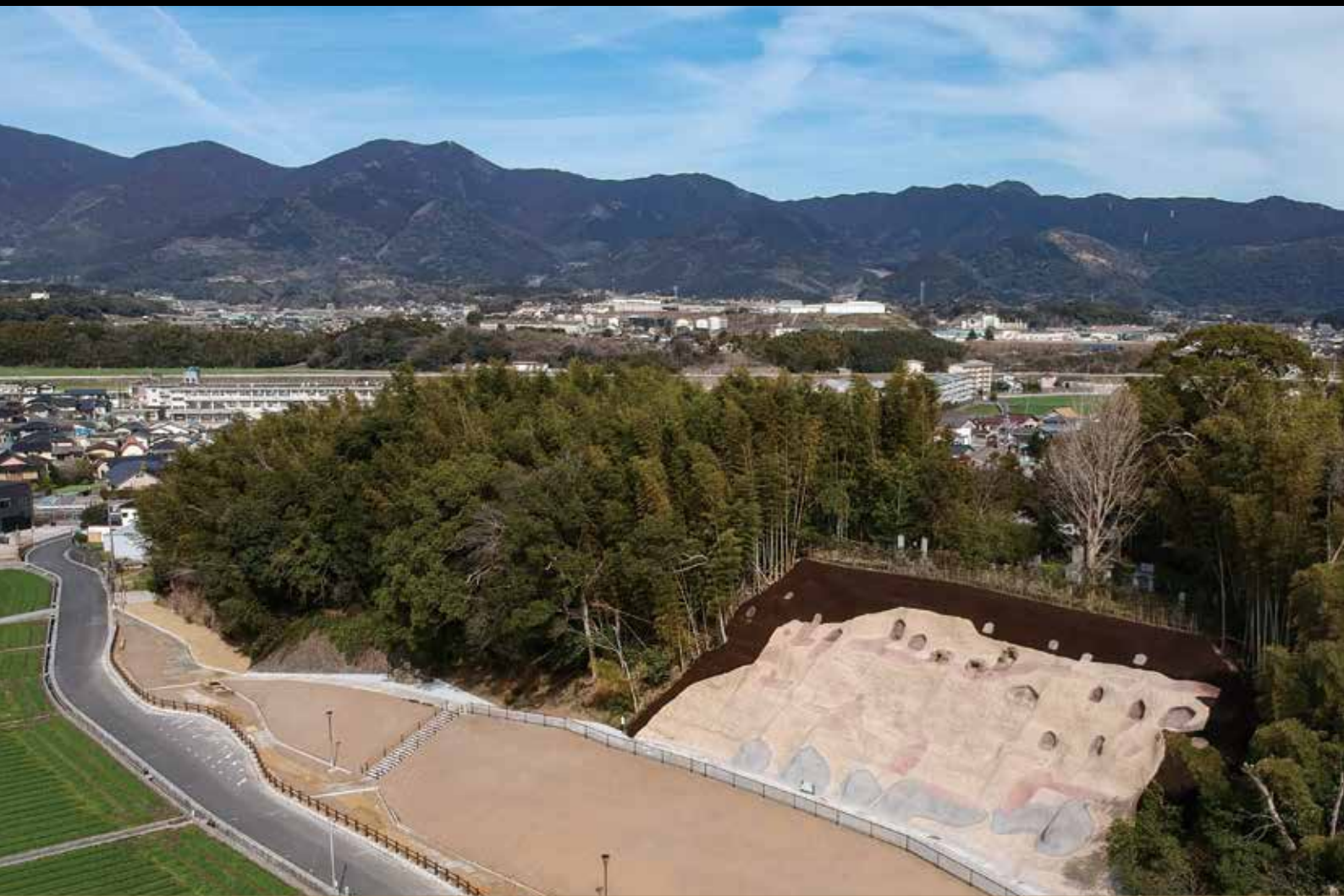


▲「うれしいひなまつり」など数々の名曲を世に残した河村光陽

● 1937年(昭和12)童謡作曲家・河村光陽(上野村出身)作曲の「かもめの水兵さん」が大ヒット



- 1753年(宝暦3)稻荷神社に獅子頭が寄進され獅子楽の存在を物語る【町指定文化財】
- 1866年(慶応2)小倉御変動により、9代藩主・小笠原忠幹の葬儀が興国寺で行われる
- 1902年(明治35)国内初の炭鉱技術員養成学校「赤池炭鉱山学校」開校。明治専門学校(後の九州工業大学)の前身となる
- 1904年(明治37)三菱方城炭鉱坑務工作室【国登録文化財】
- 1914年(大正3)三菱方城炭鉱で国内最大の犠牲者を出すガス炭塵爆発(方城大非常)発生
- 昭和初期、町内の炭鉱最盛期



悠久の時を越えて
未来へつなぐ祈り

今回解き明かされた先人たちの生きてきた証「城山横穴群」。全国有数の規模と密集度を誇り、千年以上の時を越えて今に残るこの横穴墓は、古代と現代をつなぐタイムカプセルとして、郷土の歴史の扉を開くものです。整備を進めていく中で得られた新たな発見や出土品は、先人たちが残したかけがえのない財産であり、それぞれが語りかけるメッセージがあります。その貴重な史跡を確実に保存し調査を進めることは、地域の魅力を再認識し、町の誇りを醸成することにつながると考えています。

かつてこの城山の地にあった祈りのカタチ、郷土の歴史と人々のおもい。それらを受け止め、次世代へとつないでいくことが、この町で今を生きる私たちの責務ではないでしょうか。



In the life
My home town
Fukuchi